

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

目指す子供像

- ◇考える子 自ら考え、進んで自分の考えや思いを伝え合う子供
- ◇思いやりのある子 互いを尊重し、仲良く助け合う子供
- ◇健やかな子 運動に親しみ、健康・安全を心がける子供

平成30年度重点目標

気づき、考え、表現できる子供の育成

教職員の働きかけ（目指す教師像）

- ◇考える子を目指して
 - ・授業において、子供が課題意識を持ち、主体的に追究できるよう指導過程を工夫する。＝子供からの「なぜ?」「おもしろい」「やってみたい」の声を目指す
 - ・子供同士が関わり合って問題解決する場を設け、自己決定、集団決定を大切にする。＝自分（たち）で決め、実践することを見守る。
 - ・考えて、判断したことを様々な方法で表現する場を工夫する。＝表現力を育てる
- ◇思いやりのある子を目指して
 - ・子供一人一人を多面的・多角的に理解し、がんばりや変容を認める言葉かけに努める。
 - ・望ましい関わり方を子供自身に考えさせ、粘り強く指導する。
 - ・人権に配慮して、言語環境を整える。
- ◇健やかな子を目指して
 - ・仲間と体を動かすことの心地よさに気付かせ、目当てをもって運動に取り組むよう工夫する。
 - ・生命や健康の大切さに気付かせ、自分の生活の在り方を主体的に考え、行動する力を養うよう工夫する。

【教育に関わる使命感と謙虚に学び続ける姿勢】

学校全体での取組（目指す学校像）

- ☆安心して通える学校
教職員が高い危機意識を持ち、全校体制で安全・安心な学校づくりに取り組む学校
- ☆学ぶ喜びがある学校
子供が自ら考え、判断し、行動する場面が工夫され、主体的に学習する学校
- ☆一人一人が大切にされる学校
一人一人のよさや可能性が見い出され、自己有用感が高まる学校
- ☆中学校と緊密に連携する学校
目指す子供像を共通理解し、円滑な学びの接続を図る学校
- ☆教職員にとって、働きがいのある学校
教職員のアイデアや持ち味が学校運営に生かされ、一人一人が学校運営者という自覚をもつ学校

連携

○家庭と

目指す子供像を共有し、協力しながら基本的な生活習慣と学習習慣の基盤づくりに努める。

○地域と

学校の教育活動の成果と課題を地域に発信するとともに、地域の教育力を生かした活動を積極的に取り入れる。

○関係機関と

教育委員会、児童養護施設、医療機関、児童相談所等と連絡を密にし、子供の安全確保と健全な成長につなげる。